



# 東実同窓会報 No.33

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会広報部  
http://www.tojitsu-dosokai.com



会長 白田 佳彦 (第42期)

## ■ご挨拶

同窓会会員並びに母校教職員の皆様には、平素より同窓会活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。同窓会を代表して厚く御礼申し上げます。

私も会長に就任いたしましたから6回目の正月を迎えました。本年度の定期総会の終結をもって3期6年の任期満了となりますが、微力ながら母校と同窓会の発展に鋭意努力いたす所存でございますので、何とぞ一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ■コロナ禍の2021年度

新型コロナウイルス感染症は、2019年の終わりごろに発生したのを皮切りにあっという間に世界中に感染が拡大して約2年になりますが、これまでにさまざまな変異株が発生し、いまだに収束が見えず「ウィズコロナ」の生活が続いております。

そんな中、1年延期となった「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が行われ、夏冬を通じて最多のメダルを獲得するなど選手たちの活躍に沢山の感動をもらいました。また、テレビ観戦しながら前回のオリンピックが開催された昭和39年(1964年)のときは、東実在学中だったことを懐かしく思い出すとともに、50数年という時代の流れを早く感じさせられました。

さて、コロナ禍の当会においては、「第41回定期総会」は感染防止対策を講じて予定通り昨年6月5日(土)に開催いたしました。また、「総会後の懇親会」および「第38回懇親旅行」は中止いたしました。また、1月29日(土)開催予定の「令和4年新年会」は、10月に入ってから新

規感染者は大幅に減少しましたので、主な関係者に12月中旬に「開催のお知らせ」を送付し、参加者を集めました。しかし、新年を迎えてから変異ウイルスの「オミクロン株」感染者が急拡大したため、1月12日(水)に正副会長にて協議した結果、参加者および関係者の健康と安全面を第一に考慮し、急遽中止することといたしました。既にご出席の連絡をいただいた皆様には、大変ご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。

コロナ禍とは言え、恒例的に実施していた同窓会行事を中止することは、とても残念に思います。一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、安心できる日常に戻り、同窓会行事が開催出来ますことを心から願っています。

## ■創立100周年を迎えて

今年、母校東京実業高等学校は創立100周年、学校法人上野塾兄弟校の東京高等学校は創立150周年で、両校とも記念すべき周年を迎えました。

母校創立100周年という記念すべき節目に、同窓会会長として関わることができ大変光栄に思います。

10月初旬に両校一緒に周年記念式典・祝賀会が予定されておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止・延期等もあるようですので、本原稿の寄稿時点では流動的ですが、一世紀にわたって卒業生や教職員など関係者の皆様が着実に積み重ね、築いてこられた輝かしい母校の歴史と伝統に敬意を表すとともに、心よりお祝い申し上げます。

## ■第97期卒業生の皆さん

今年も、266名(1月31日現在)の後輩たちが、それぞれの進路に向けて巣立って行かれ、当会の第97期会員となられますが、「親和誠実」・「不撓不屈」の校訓のもとで学んだ東京実業高等学校の卒業生であることを誇りに思い、日々精進を重ねて益々活躍されますことをお祈り申し上げます。

ご卒業されてからも、同窓会行事等に参加され、近況報告や若い視点からの意見などをお寄せいただければ幸いです。特に、同窓会幹事の方は、毎年6月の第1土曜日開催の定期総会には、是非ご出席していただきたく切にお願い申し上げます。

(令和4年1月14日 記)



東京実業高校同窓会のホームページ  
http://www.tojitsu-dosokai.com/



## 令和3年 徒然なるままに



理事長 上野 雅子

令和3年も又、昨年に引き続きコロナウイルス感染症のニュースで、毎日感染者数や死亡者数などが報道され、一喜一憂の日々を送ることとなってしまいました。緊急事態宣言は何度出されたのでしょうか。コロナウイルスも、いろいろと変化をし、変異株が増え、それに対してワクチンの有効性はどれだけののかな等々、ワイドショーは必ずそのニュースから始まるものばかりでした。そんな中でオリンピック、パラリンピックの開催が決定し、無観客の中、各国の選手達が、これ迄の鍛練の成果を競い合い勝利を手にした笑顔は、何にも勝る感動を私達に与えてくれました。しかし、生徒達にとっては、一生に一度かもしれないオリンピックの競技を皆で観戦し、その臨場感を味わうことは、その後の人生で何よりの宝物になったことを思うと、無観客でのオリンピックは非常に残念なことでした。

外国からいらした選手や関係者の方々も多く、多くの制約を課せられ、観光等の楽しみも出来ずに終わってしまったオリンピックでしたが、それに係わった人々の行動は、外国の方々に好印象を与えたようで日本人として誇りに思いました。世界中でコロナに対する対策が異なり、マスク着用の有無、ワクチン接種に対する人々の考え等、頷けるものもあれば、おかしいと思うものもあり、同じ考えを共有することの難しさを痛感します。古代の人々が自然を畏怖して生きていた心を私達は忘れてしまい自然を破壊して生きてきたその報いを今受けているのかも知れません。CO<sup>2</sup>の問題もずっと前から言われ続けてきたことであり、それを先送りしてきた私達の罪を次の時代に生きていく若い世代に引き継がせないよう、国をリードする方々にきちんと方針を打ち出し実行してもらいたいものです。私達も又出来る限り身近な所から地球を綺麗にすることを心掛けていかなければなりません。コロナ禍の中、小・中・高・大学の生徒達は、学校での楽しみを満喫出来ず、本当に試練の時期だったことでしょう。この忍耐が、何らかの形で成長していく上での糧になるようにと願うばかりです。

同窓会の方々ともなかなかお目にかかる機会が失われてしまいましたが、一日も早くコロナを恐れず、マスク着用無しでお会いし、楽しい時間が持てるようになりすことを心より願っています。

(令和3年12月1日 記)

## 令和3年度 新型コロナウイルス感染症への対応を顧みる



学校長 國分 達夫

令和3年度も後一月余りとなりました。この寄稿文を書いている時点での新型コロナウイルス感染状況は、東京都内においては、11月24日に新たに感染が確認されたのが5人となり、今年最も少なくなるなど、小康状態が続いています。学校の使命である「生徒、教職員の健康を確保しつつ、生徒の学ぶ権利を保障する」という両立させることが困難な課題に取り組んできた責任者として、少し心が和らぐ状況が続いています。しかし、南アフリカなどで確認された新たな変異株「オミクロン株」の感染が欧州で急拡大するなど、他の国々ではとても心配な状況があります。また、これから冬を迎えるにあたって、新型コロナウイルス感染の第6波が襲ってくるという情報もあり、油断はできません。

本校の令和3年度の感染対策は、次のように取り組んできました。生徒は、登校時にはサーモカメラにより検温を行い、万が一体温が設定温度より高い場合には、直

接の検温により体温を測定します。その後、教員によりアルコールでの手指消毒を行ってから、校内に入ります。朝のホームルームでは、クラッシーという体調管理ソフトにより、健康観察を行います。そして、感染症対策のポイントの一つである昼食指導では、担当の先生が生徒と共に食事をして、黙食指導の徹底を図りました。また、校内清掃をお願いしている外部清掃業者により、共用部分の消毒の徹底に努めています。

これらにより、生徒一人ひとりの感染症予防対策への意識は着実に高まり、感染症対策3か条を徹底することで、ほぼ通常の形態で授業を営むことが出来ました。都立高校などでは、分散登校、短縮授業、時差登校などの措置が講じられましたが、本校では、校内での感染状況に応じて同様の対応をとる準備を整えていましたが、その必要はありませんでした。家庭内感染での陽性者が若干出ただけで、心配されるような状況は生まれませんでした。これは、生徒・教職員一人ひとりの感染症対策への強い意識と自覚ある行動により、現在のような状況が生まれたものと捉えます。これらのことから、後輩たちの頑張っている様子や学校の落ち着いた状況が見取れることと思います。

同窓会の会員の皆様におかれましても、新型コロナウイルス感染症の第6波が予想されますが、この厳しい状況を乗り切っていくことを心よりお祈りするとともに、母校への益々のご支援とご協力を宜しくお願い致します。

(令和3年11月29日 記)

## 学校の近況報告



副校長 小畑 雅一

本校は令和4年度に創立100周年を迎えます。秋には周年行事も予定されており、これからその準備が本格化します。しかしながら、現在の新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、周年行事も従来の計画とは異なったスタイルでの実施となりそうです。そんな慌ただしい中、本校は100周年を迎える今年、大きく変わってきます。今回はその改革についてご紹介致します。

### ■科・コースの変更

令和4年4月から、現在の「普通科文理コース」は「普通科探究コース」と「普通科総合コース」へ、「機械科」は「機械科機械システムコース」へ、そして「電気科電気コース」は「電気科電気システムコース」へ変更になります。特に新たに誕生する「普通科探究コース」では、生徒たちに探究授業などを通じて自ら深く学ぶ力を身に付けさせたいと考えています。その上で、有名私立大学合格などの目標を設定させ、チャレンジするためのサポートを行っていきます。一方「普通科総合コース」では、苦手教科の学習に安心して取り組めるよう、中学校までの間に取りこぼしてしまった内容を一つ一つ学び直していく「リメディアル学習」を行います。生徒一人ひとり理解度、定着を把握しながら段階を踏んで基礎学力を固めます。部活動にも力を入れて取り組みながら、大学進学に向けた力を身に付けたいという生徒も大学進学へ導きます。

### ■「フェニックスプログラム」の始動

「自分を知り、未来の自分を実験するために」、来年度の新入生から本校独自のキャリア教育である「フェニックスプログラム」が始動します。ご存じのように、本校は2016年文部科学大臣から「キャリア教育優良校」として表彰を受けています。この新しいプログラムは、これまでの本校のキャリア教育の一つの集大成として、自分が希望する進路を具体的に描き、高校生活で学ぶべきことを明確にする内容です。3年間で取り組む探究学習や課題研究にもつながる、重要なプログラムです。

また、現在の学校5日制が、来年度入学生より学校6日制へと変更されます。学年進行ですので、2年間は6日制の生徒と5日制の生徒が混在することになりますが、授業日は1日増えることで「フェニックスプログラム」や「探究・課題研究」にじっくり取り組み、「思考力」や

「判断力」、そして「表現力」などをより深めることを目的としています。

### ■クラブの活躍

#### ●男子サッカー部

全国高校サッカー選手権の東京都予選において、ベスト8に勝ち上がり、準々決勝の対堀越高校戦において、惜しくも0対1で敗れました。キャプテンを務めた普通科ビジネスコース3年漆原龍空さんのコメントです。

「都大会の準々決勝で堀越高校に負けしまいました。3年間積み上げてきたものを存分に発揮し、とても良い試合が出来たと思います。」

#### ●マーチングバンド部

11月14日に「さいたまスーパーアリーナ」で行われた関東大会において、小編成の部で「銀賞」を受賞しましたが、惜しくも全国大会出場は逃しました。現在部員が29名と小編成の部の中でも少ない人数であるにも関わらず、一人ひとりが100%の力を発揮し、勝ち取った「銀賞」だと思います。部長の普通科ビジネスコース3年横田国祐さんのコメントです。

「今年度は、惜しくも全国への切符を逃がしてしまいましたが、周りの方々の支えもあり、最高のShowを創ることができました。応援ありがとうございました。」

(令和3年12月5日記)

### ■教職員の永年勤続表彰並びに異動（敬称略）

令和4年1月31日現在

#### ●永年勤続表彰者

勤続30年：藤田 稔（工業）、村山 隆（工業）

勤続20年：宮地 裕（国語）、寺島しのぶ（英語）

#### ●教職員の異動

新任教職員：武田 一郎（副校長—体育）

白石 龍馬（理科）

Amy Vogenthaler（英語科非常勤職員）

退職教職員：関根 章道（数学）

Rache Imoriki（英語科非常勤職員）

## 現在の運動部と文化部

### 運動部（14部）

卓球部・柔道部・弓道部・剣道部・野球部・陸上競技部・サッカー部・レスリング部・ソフトテニス部・バレーボール部・男子バスケットボール部・女子バスケットボール部・バドミントン部・女子サッカー部

### 文化部（20部）

マーチングバンド部・工芸部・簿記部・珠算部・新聞部・英語部・釣り部・写真部・美術部・軽音楽部・華道茶道部・マンガ研究部・映画研究部・ペンフレンドクラブ・インターアクトクラブ・女子ダンス部・ワープロ部・家庭科部・オーサリング部・卓上遊戯研究部

## 機械科

先端分野でも即戦力に  
豊富な実習で知識と技能を養成



機械科科長 砂本 眞

令和3年度、機械科は新入生49名を迎えました。今年度、機械科の在籍は1年生49名(2クラス)、2年生54名(2クラス)、3年生61名(2クラス)計164名です。

各クラスの担任は、次の各先生です。

1年生A組：片山智裕(社会)、B組：為田純兵(数学)

2年生A組：児島大祐(体育)、B組：羽田 雄(機械)

3年生A組：砂本 眞(機械)、B組：村上信人(機械)

4月から機械科実習助手として笠原象貴先生が新たに加わり、工業技術基礎、機械実習(旋盤)機械製図の授業を行っており、ものづくりの楽しさを教えています。

資格取得に関して、フォークリフト運転特別教育講習23名が合格しました。また、今年度も国家資格「第二種電気工事士」に機械科2年生が4名、3年生が3名合格しました。

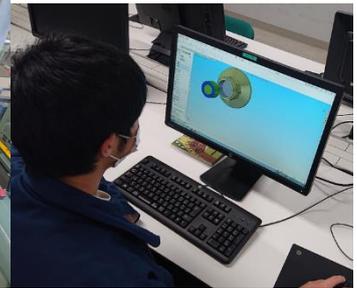
3年生において、現時点で大学10名、専門学校25名、就職16名の進路が決定しております。

同窓会の益々のご発展と同窓会の皆様の御多幸をお祈りし、機械科の近況報告とさせていただきます。

(令和3年12月10日 記)



旋盤実習



デジタルデザイン実習

## 電気科・電気コース

電気の基礎知識から資格取得まで  
時代に即した技術者を育成



電気科科長 深川 剛

今年度、前任の須賀寛光先生から引き継ぎ、電気科科長を務めさせて頂くこととなりました。

今年度は電気コース30名(女子1名)、ゲームITコース52名(女子4名)の計82名を新入生として迎えることが出来ました。ゲームITコースが設立されてから今年で12年目となりますが、初の2クラス体制となりIT1Bクラスが誕生しました。

現在電気科は電気コース118名、ゲームITコース116名(11月現在)の合計234名の在籍者がおり、クラス数は電気コースの1、3学年が1クラス、2学年が2クラス、ゲームITコースは1学年が2クラス、2～3学年が1クラスの計8クラス体制となっております。

例年出展している「東京ゲームショー」ですが、残念ながら昨年同様に今年もオンライン開催となりました。ゲームITコースの3年生は、この状況でもオリジナルゲームの制作に励み、特設ホームページで作品を発表することが出来ました(来年度は幕張メッセ開催が予定されています)。

同窓会報で毎年報告しております、「第二種電気工事

士」の合格者ですが、今年度は27名の生徒が技能試験にチャレンジしました。緊急事態宣言が発出されていたため、講習時間も制限付という技能講習となり、満足な練習が出来なく最後まで不安な状況でしたが、見事24名の生徒が合格を果たしてくれました(電気科17名、機械科7名)。技能試験合格率は88.9%となっております。

「第一種電気工事士」では10月に筆記試験が行われ、電気科の茂木先生、福島先生指導の下、11名(電気科10名、機械科1名)が合格し、12月上旬に行われた技能試験を受験しました。結果9名(電気科8名、機械科1名)が見事合格しました。

来年度、普通科の新コース設立に伴い、電気科も「電気コース」から「電気システムコース」に名称変更いたします。創立100周年を来年に迎えるにあたり、電気科一同、より一層精進して参る所存でございます。今後ともよろしくお願いいたします。

(令和3年12月10日 記)



令和3年度「第二種電気工事士」合格者

## 普通科・ビジネスコース

就職に有利な資格・検定の取得と  
大学進学を同時に実現



ビジネスコース科長  
田口 結香

現在、普通科ビジネスコースには308名の生徒が在籍し、専門性を高め、様々な検定試験（簿記・情報処理・ビジネス文書・ビジネスコミュニケーションなど）に挑戦することで個人の能力を向上させています。

昨年度は、コロナ感染症の影響で検定試験の実施が出来ないものもありましたが、今年度は、日商簿記検定がネット試験と従来の形の両方で実施されるなどの変更はありましたが、全ての検定試験に受験でき、結果を残し

ている状況です。

また、東実祭についても、昨年度はオンライン文化祭の形でしたが、今年度は飲食など行わず、感染対策を行い主に展示での開催となりました。そのため、東日本大震災後から行っている、宮城、福島、山形県などの支援のためのビジネス物産展や個々の能力を発揮する機会である、簿記・珠算・ワープロ競技会の開催をすることができなかったため、来年度こそは開催したいと考えております。

ところで、来年度の入学生からカリキュラムが大きく変わります。これまでは、検定試験取得を中心とした授業でしたが、新しい教科である「ビジネスマネジメント」を通して、歴代の起業家を事例に起業家精神を学び、その学びを深めるために「ビジネス探究」の授業の中で、自ら新しいモノやビジネスを展開する力を身に付けてもらいたいと考えています。そして、この経験をさらに深めるために進学・就職し、社会で活躍してくれる生徒たちが増えることを期待しています。

(令和3年12月10日 記)

## 普通科・文理コース

双方向型の授業と特別講座により  
全員の志望校現役合格をめざす



文理コース科長  
寺岡 しのぶ

1976年（昭和51）に設置された普通科は、2001年（平成13）より、普通科文理コースと名称を変更しました。設置当時から「4年生大学現役合格」を目標とし、今年度で45年目を迎えます。

さて、文理コースでは、次の三点を重点とし、指導しています。

- (1) キャリア教育を通じた進学指導
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開
- (3) 大学進学に向けた実力の向上。

(1)については、Benesse社の「進路サポート」を取り入れ、生徒自らの探究型進路学習を指導しています。さらに、同社の「classi」を使い、休み中の宿題を一斉に配信したり、自身で出来なかったポイントをWeb動画等で復習・確認させています。

(2)については、特に数学で習熟度別授業を展開し、生

徒のレベルに合った授業で理解度を高めるようにしています。

(3)は、城南予備校から派遣された講師による授業とし、1・2年生の希望者を対象に年間約11回の土曜講座を実施しています。講座内容ですが、1年次は英語と数学、2年次からは国語も選択で加わり、90分授業です。また、土曜講座は実力診断テスト等、Benesse模試でのGTZ（学習到達ゾーン）の向上のためと位置づけ、通常の授業の中で小テストを行い理解度を確認しながら進めています。

土曜講座のない土曜日は、全国模試や英検・数検、また大学入試対策英語講座（3年生希望者）等となりますので、文理コースの生徒は学校6日制という意識で学習していると言えます。

文理コースには、現在3学年合わせて83名の生徒が在籍しています。12月の文理コース集会では、校長先生による講話、検定取得などの奨励賞授与、そして大学入試共通テスト・一般入試に挑む3年生への壮行会が行われます。

また、令和4年度から文理コースは、新しく生まれ変わり「探究コース」と「総合コース」の2つのコースへとモデルチェンジされます。

今後も伝統を継承しつつ、新たに学校改革を進めてまいります。

(令和3年12月10日 記)

## 部活動・オーサリング部



オーサリング部  
顧問 湯尻 英明

オーサリング部は主に、動画制作を軸に活動しております。同じ趣味や興味を持つ仲間達と放課後に有意義な時間を作りたいと結成された新しい部活動です。

みなさんはオーサリングと聞くと、まずどういう意味だろうと考えと思います。オーサリングとは、映像や音楽、文字などのデータを一つにまとめて、メディア作品として完成させることを言います。その中でも動画投稿サービス「Youtube」でよく閲覧されているような動画制作を行っています。特に3DCGソフトのMikiMiku Dance（通称MMD）を使用したダンス動画や、ゲーム実況といった様々な方に楽しんでいただけるような動画の制作をしています。

毎年、オーサリング部には様々な個性を持った生徒が入部を希望してくれます。部活動を行う際には「放課後を楽しく」ということを特に大切にしながら活動をして

います。これは、部が結成されたとき生徒と顧問で約束した願いです。オーサリング部は相手の個性を尊重し、放課後の空間を大切にする生徒の集りです。お互い技術を高めながら、相手の個性を認め合う感覚を大切に社会に出て活躍できる人材を目指します。これからもオーサリング部を応援していただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



## 生徒会・活動報告

### 新たな伝統に向けて



生徒会長 松原 想大

現在の生徒会執行部は、1年生10人、2年生6人で活動しています。

令和3年度の主な実績としては、体育祭運営・東実祭運営・先生と生徒の懇談会・校則改革プロジェクトを行いました。現在は3年生の卒業に向けて、三送会の企画や生徒会広報誌「蒲公英」の作成を行っています。

体育祭や東実祭は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が危ぶまれましたが、生徒の希望や感染防止に留意し、入場制限を設けるなど工夫を凝らし、実現することが出来ました。

体育祭では、工業科と普通科を午前午後に分け、密を避けて行いました。人数は大きく減りましたが、午前午後ともに熱い声援が体育館中に響き渡り、大いに盛り上がりました。

東実祭は1日のみの開催でしたが、生徒の工夫により

多くの保護者の皆様にも来ていただき、とても楽しい一日となりました。来年度は、ぜひ2日間の開催で模擬店などを出したいと考えています。

先生と生徒の懇談会では、クラス代表が集まり先生と生徒間で議論しました。生徒も先生もお互いの考えをより深く知ることができ、とても良い会になりました。

そして、東京実業100周年記念のプロジェクトである校則改革プロジェクト「ルールメイキング」が新しく始動しました。先生と生徒の懇親会から出された意見やさらに校則の細部まで話し合い、生徒自ら校則を提案し、より良いものになるよう議論を重ねました。メインとしては、スマートフォンの使用制限緩和や頭髪基準の改定に関し、様々な意見が出されました。このプロジェクトは、ぜひ来年度にも引き継ぎたいと考えています。

現在の生徒会執行部は、1年生が多く加入したので、雰囲気が大きく変わり、新しい感覚や広い視野が持ち込まれています。100周年の新たな学校改革に向けて、生徒会執行部としても濃い1年でした。

私の任期も引退が近づき、折り返し地点を迎えています。残りの任期は1年生の育成に力を入れ、より良い生徒会となるように引き継いでいく所存です。保護者の皆様から多くのお力をいただき、質の高い活動ができています。協力いただいた方の期待に応えられるように、新たな伝統を築き上げていこうと思います。

(令和3年12月1日 記)

# 定期総会報告

## ◆ 令和2年度収支決算報告（第2号議案）

### 令和2年度 収支決算報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日まで、単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	4,617,672	4,617,672	事務消耗品費	250,000	186,318
入会金	3,260,000	3,190,000	通信連絡費	130,000	110,074
寄付金	100,000	150,000	ホームページ管理費	670,000	664,598
広告費	40,000	40,000	印刷費	60,000	65,670
総会会費	0	0	会議費	380,000	268,545
旅行会費	400,000	0	総会助成費	50,000	59,149
新年会会費	300,000	0	総会会費	0	0
東実祭	170,000	0	旅行助成費	100,000	0
受取利息	300	29	旅行会費	400,000	0
雑収入	140,000	10,000	新年会助成金	300,000	0
(総会)	0	0	新年会会費	300,000	0
(旅行)	0	0	東実祭助成費	70,000	0
(新年会)	140,000	0	東実祭費	170,000	0
(拡大幹事会)	0	10,000	会報発行費	650,000	662,645
(その他)	0	0	慶弔費	300,000	110,000
会議会費	50,000	57,000	卒業記念品費	310,000	308,374
(拡大幹事会)	50,000	57,000	積立金	500,000	1,000,000
(その他)	0	0	交通費	15,000	15,000
			予備費	100,000	123,810
			雑費	972	1,650
			奨学金	500,000	500,000
			次年度繰越金	3,822,000	3,988,868
			(普通預金)	3,700,000	3,694,248
			(現金)	122,000	294,620
収入合計	9,077,972	8,064,701	支出合計	9,077,972	8,064,701

### ■ 積立金等次年度繰越金内訳(別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	15,825,208	1,000,000	1,291	16,826,499	定期預金
定期預金(三菱UFJ)	10,119,829	0	859	10,120,688	定期預金
合計	25,945,037	1,000,000	2,150	26,947,187	

## ◆ 令和3年度事業計画（第3号議案）

### ■ 総務部（定期総会及び庶務一般等に関する事業）

- 第41回 定期総会並びに懇親会の開催
  - 定期総会
    - 日時：令和3年6月5日(土) 14時～
    - 場所：プラザ・アペア
  - 懇親会
    - ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み中止
- 拡大幹事会の開催
  - 日時：令和3年11月19日(金) 18時～
  - 場所：プラザ・アペア
  - 会費：3,000円
- 庶務一般関係
  - 会員の名簿の整理及び作成
  - 会員の同窓会事業への参加促進活動
  - 卒業記念アルバムの管理
  - その他
    - 常任幹事会等の開催
    - 新幹事との懇親会の開催
    - 学校行事への出席

### ■ 事業部（年間行事等に関する事業）

- 第38回 懇親旅行の実施
  - 9月中旬～下旬に1泊2日の国内旅行を計画
  - ※新型コロナウイルス感染症など諸般の事情を鑑み実施の有無を決定
- 東実祭への参加
  - 日時：令和3年11月6日(土)・7日(日)
  - 催し：同窓会の部屋の設営、校章入りドラ焼き、綿菓子の販売など

- 令和4年新年会の開催
  - 日時：令和4年1月29日(土) 17時30分～
  - 場所：崎陽軒本店(横浜)
  - 会費：8,500円～9,500円
  - ※卒業後3年以内の会員は無料招待

### ■ 広報部（会報誌の発行、ホームページの運用管理及び広報活動等に関する事業）

- 会報誌関係
  - 東実同窓会報33号の編集及び出版
  - 頒布(配付・送付)
- ホームページ関係
  - 随時更新及び運用管理
  - 年間行事等の情報提供及び参加者の募集
  - 会員からの各種変更届等の対応
- 広報活動
  - 会報誌の広告掲載企業の募集
  - ホームページのバナー広告企業の募集

### ■ 会計部（予算・決算及び寄付・協賛・贈呈等に関する事業）

- 予算・決算関係
  - 現預金の出納業務
  - 当該年度の予算管理及び収支決算書の作成
  - 次年度予算の集計及び予算書の作成
- 寄付・協賛・贈呈関係
  - 卒業生への卒業記念品贈呈
  - スカラシップ(奨学金)への寄付
  - 部活へのお祝い金贈呈
  - 役員会で承認可決された慶弔金・寄付金等



### 第41回定期総会

第41回定期総会は、令和3年6月5日(土) 15時より、総勢39名(会員33名、学校教職員6名)出席のもと、プラザ・アペアにて開催されました。

#### (黙禱・挨拶・議事)

議事に先立ち、永眠された会員並びに同窓会関係者に黙禱が捧げられた後、臼田会長、國分校長(名誉会長)の挨拶があり、総会の召集権のある臼田会長が議長となり、次の5議案が議場に諮られ、いずれも全会一致で原案通り可決承認されました。

#### (議案)

- 第1号議案 令和2年度事業報告の件
- 第2号議案 令和2年度収支決算報告並びに監査報告の件
- 第3号議案 令和3年度事業計画(案)の件
- 第4号議案 令和3年度収支予算(案)の件
- 第5号議案 異動に伴う役員改選(案)の件

#### (改選役員等の紹介)

議事終了後、副会長に選任された深谷和弘・山田慎両氏と出席された第96期(令和2年度卒業)幹事及び学校教職員が紹介され、各自自己紹介を兼ねて挨拶していただきました。

#### (スカラシップ認定式)

続いて、小畑副校長(副会長)より、令和2年度東実スカラシップ(学業奨学生、資格・技能奨学生、スポーツ・文化奨学生)の認定生徒の状況について報告があった後、2年生(現3年生)の認定式が行われました。今回は、コロナ禍の影響もあり、各部門の代表者3名のみが出席し、國分校長から認定証が授与されました。

#### (母校の近況報告)

最後に小畑副校長より母校の近況報告をしていただき、すべての式次第が滞りなく終了し、閉会となりました。

#### ◆ 異動に伴う役員改選(第5号議案)

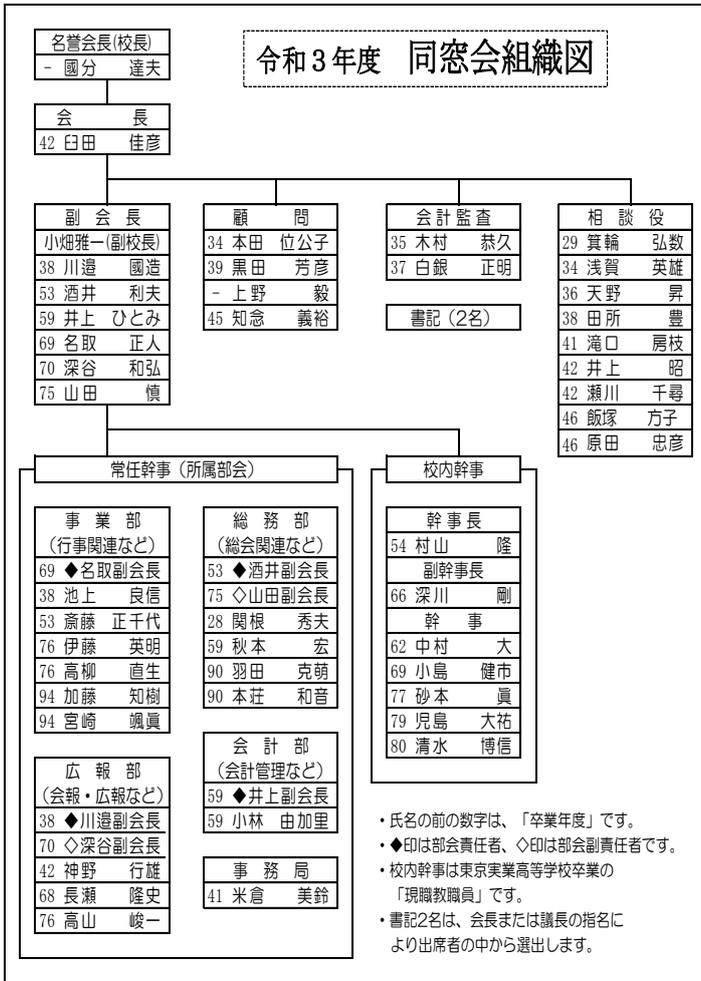
本年度は、非改選期であり、下表の3名のみが改選され、他の役員は全員重任となりました。

卒期	氏名	役職名	
		現任	改選
70	深谷 和弘	常任幹事	副会長
75	山田 慎	常任幹事	副会長
37	米田 仁昌	相談役	辞任

改選後の同窓会組織体制は、左上の「令和3年度同窓会組織図」の通りです。

#### 総会後の懇親会

懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響など諸般の事情に鑑み、中止しました。(総務部)



上…出席者全員、下…第94～第96期(卒業3年以内)の会員



左…スカラシップ認定生徒代表、右…認定証の授与

## 新任役員紹介



副会長  
深谷 和弘 (第70期)

第70期の深谷和弘と申します。このたび副会長を拝命いたしました。平成7年に電気科卒業後千葉工業大学に進み現在は大田区内にて電器店を経営しております。

常任幹事を拝命してから地元大田区でお声がけをいただくことも増え、諸先輩方も多くお住まいであることを実感いたしました。私自身は地元で氏神様へのご奉仕活動を通して地元へ貢献していきたいと活動していると同時に、中学から高校、大学まで同窓会に所属し活動しております。

地元大田区で商売をしながら現在は同窓会活動だけではなく母校電気科にて時間講師をさせていただいており、本業をしながら後輩への指導を行っている日々を過ごしています。地元の電器店としてのこと、経営者としてのこと、また技術者としての側面もありますのでそれら様々なことを伝えていければよいなと思っております。

現在の生徒を見ながら自分が高校在学当時を思い出しますと、工芸部に所属しておりパソコンソフト開発やアマチュア無線に明け暮れていた日々も懐かしく思い出されます。その当時のやっていたことが現在のIT系の業務や第一級アマチュア無線技士、第一級陸上特殊無線技士などの資格取得に生きているので今となっては貴重な3年間だったなと思います。

自分で学習するのと教えるのは同じ内容を取り扱っていても全く違い、生徒の理解習熟度によって話す内容を変えねばならないのでまた違った鍛錬をしている今です。大学の先輩の話ではありますが、本学の卒業生となったからには生涯学習を旨とせよとご指導をいただき、思えば本校の精神も不撓不屈の精神であります。何事にも負けることなく、前向きに取り組みまた生涯学習を旨とせよと諸先輩方に教わったことを活かして仕事の幅を広げるとともに、授業を通して後輩の皆さんに伝えていきたいなと思っております。

同窓会活動に若手を呼び込み盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(令和4年1月6日 記)

**同窓生の皆様、後輩(新入生)募集中です!**  
**ご紹介お願い致します。**

母校では、後輩(新入生)を募集しています。お子様やお孫さん、親戚・友人・知人のご息女・ご子息など、ご紹介いただきますようお願い申し上げます。

第41回 定期総会(2021.6.5)において、副会長(前常任幹事)に選任されました。



副会長  
山田 慎 (第75期)

東京実業高等学校同窓会の皆様、こんにちは。私は第75期(2000年)、商業科卒業の山田慎と申します。現在は情報セキュリティ・個人情報保護に関連するコンサルタントおよび監査員としての業務に就業しております。

この度、副会長を務めさせていただくことになり、身の引き締まる思いです。

時間が立つのは早いもので卒業後より22年間ほど同窓会の活動に常任幹事として参画させていただいておりました。恥ずかしながら、未だに学校に通わせていただいている気分が抜けていない気もしています。

また、昨年までは瀬川相談役(第42期)のもと、新年会や懇親旅行等の企画から実行までを担当していました。

コロナ禍が続く状況ですが、これまでの経験を活かし、同窓会活動が安心・安全に、さらに発展できるように卒業生の皆様のご協力をいただきながら、精一杯務めさせていただきたいと考えております。ご指導・ご鞭撻のほど何卒お願い致します。

また、同窓会への変わらぬご支援をいただけますよう、どうぞ宜しくお願い致します。

(令和4年1月12日 記)

### 東京実業高校同窓会会員総数

第96期(令和3年3月)卒業生まで

( )内の数字は女子会員

会員数		総数	商業系	工業系	普通系
		うち女子	(3,645)	(2,612)	(17)
昼間部(同窓会) (大15~令3)96期	総数	33,420	11,910	15,918	5,592
	うち女子	(3,413)	(2,382)	(15)	(1,016)
夜間部(蛍窓会) (昭4~昭52)49回	総数	3,586	2,223	1,363	
	うち女子	(228)	(228)	(0)	
専門学校(五業会) (昭35~昭48)14回	総数	640	132	508	
	うち女子	(4)	(2)	(2)	

第96期 卒業生数	商業系	工業系			普通系		
		機械科	電気科		ビジネス	文理	
			電気	IT			
合計	319	0	62	63	35	124	35
男子	287	0	62	63	35	97	30
女子	32	0	0	0	0	27	5

## 主な行事報告

### 第38回 懇親旅行

第38回懇親旅行は、事業計画(案)では、昨年9月中旬～下旬頃に1泊2日の旅行を企画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症予防及び参加者の健康と安全を最優先に考え、止むを得ず中止することと致しました。

楽しみにしている会員もおられる中、昨年に続いて中止となり残念です…。

12月11日現在、30日連続30人を下回っていますが、オミクロン株の感染拡大が懸念され、コロナも収束は不透明ですが、次年度は、是非開催できますようお願いしています。開催の際には是非ご参加ください。(事業部)

### 令和3年度(第97期)同窓会幹事会

令和3年12月10日(金)11時15分より、校内会議室に於いて、令和3年度(第97期)同窓会幹事(16名)と、國分校長、小畑副校長及び担任の先生方へ出席いただき、同窓会役員との懇親会を開催しました。

同窓会幹事は、クラスメートを代表して、同窓会の広報活動や行事等の参画促進に務めていただくため、毎年各科各クラスから2名を選出しております。

選出の同窓会幹事および担任の先生は次の通りです。  
(総務部)

#### 令和3年度(第97期)同窓会幹事

クラス	担任	幹事	
機械A	砂本 眞先生	北島 想来	長田 駿友
機械B	村上信人先生	日沼隆太郎	椿 辰斗
電気A	長谷川浩先生	堀田 大貴	樋笠 光紀
電気ITA	清水博信先生	黒木 祐紀	石川 義勝
普通A	田島 恵先生	○與田 雄太	○望月 隆平
普通B	飯岡健太先生	清水巴弥斗	上野 雅貴
普通C	松田 稔先生	◎松木 周斗	佐々木萌花
普通D	御園新太先生	松野 隼人	川崎 真紀

- ・学年主任は、藤吉大介先生です。
- ・◎印は代表幹事(1名)、○印は副代表幹事(2名)です。



令和3年度(第97期)同窓会幹事

### 令和3年度 東実祭

令和3年度の東実祭は、新型コロナウイルス感染防止を最優先され、11月7日(日)の1日のみの開催となり、参観は保護者のみとなったため、同窓会の催し等は行いませんでした。昨年も“Web文化祭”形式で行われたため、2年にわたって同窓会の参加は無くなり誠に残念です。

東実祭の時に母校を訪問し、後輩の活躍や母校の近況を知りたいと楽しみにしている同窓生の皆さんも多く、是非来年は、例年通り2日間にわたって開催され、模擬店で「校章入りどら焼き」の販売などができますようお願いしています。(事業部)

昨年度は、コロナ禍の影響でオンラインでの実施となった東実祭。今年度は、生徒たちの強い要望により、リアル東実祭を11月7日の1日限定で開催しました。ただし、同窓生の皆様を含めた一般の方の来場はご遠慮いただき、保護者(各家庭2名まで)のみが参観できる形での実施となりました。当日は、お天気にも恵まれ、たくさんの保護者が来校してくださいましたが、例年ある模擬店などは実施されず、また同窓会や親師会、そして桜美会などの出展もなく、いくぶん淋しい東実祭でした。来年度こそは、以前のような盛大な東実祭が開催されることを願います。

(令和3年11月19日 副校長 小畑 雅一 記)

### 令和3年 拡大幹事会

令和3年拡大幹事会は、コロナ禍の影響で開催できるか危惧していましたが、10月に入り新規感染者数が50人以下に減少し、緊急事態宣言等も解除されたこともあり予定通り、昨年11月19日(金)、18時より「プラザ・アペア」において、21名(学校関係者5名、同窓会役員16名)出席のもと開催されました。

白田会長、國分校長(名誉会長)の挨拶に続いて、小畑副校長(副会長)より、前年度卒業生と今年度新入生の状況、教職員の異動、在校生の活躍、創立100周年記念式典と学校改革など学校の近況報告をしていただいた後、各部(総務・事業・広報・会計部)の責任者より実施済事業の報告と当該年度実施予定の事業について説明があり、会議は滞りなく終了いたしました。

会議終了後、会食しながら同窓会と学校相互の情報交換を行い、更なる協力・連携体制の強化を図ることができました。(総務部)



拡大幹事会(2021.11.19 於:プラザ・アペア)

## 令和4年 新年会

令和4年度の新年会は、10月に入って新規感染者は急速に減少に転じたので、予定通り令和4年1月29日（土）17時30分より、崎陽軒本店（横浜東口）にて、開催することとし、主な関係者宛てに12月20日に開催する旨のお知らせを送付しました。しかし、新年に入ってから新型コロナウイルス感染症「オミクロン株」の感染が急拡大したため、急遽1月12日に正副会長にて協議した結果、参加者および関係者の健康・安全面を第一に考慮し、中止することといたしました。

すでにご出席の連絡をいただき、楽しみにしていただきました皆様には大変申し訳ございませんでした。

また、コロナ禍の状況とは言え、会場の崎陽軒さんには、昨年と今年の2年にわたってキャンセルし、ご迷惑をお掛けしてしまいましたので、来年（令和5年）も崎陽軒さんで開催することとし、予約申し込みをいたしました。（事業部）

## 寄付者（敬称略・卒期順）

期間：令和3年2月1日～令和4年1月31日

No.	卒期	氏名	寄付金
1	第29期	箕輪 弘数	10,000円
2	第34期	本田 位公子	10,000円
3	第42期	白田 佳彦	10,000円
4	第45期	深堀 精一	10,000円
5	第64期	清水 誠三	10,000円
6	第69期	名取 正人	10,000円
寄付者数 6名		合計金額	60,000円

貴重なご寄付をお寄せくださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。皆様からいただいた寄付金は、同窓会や母校のために有意義に活用させていただきます。

会長 白田 佳彦

## 第42回(2022年)定期総会 開催のお知らせ

第42回(2022年)の定期総会を下記の要領で開催いたします。

記

日時：令和4年6月4日（土）

15時00分～18時00分

場所：プラザ・アピア（蒲田駅南口）

総会終了後、会費3,000円で懇親会を開催いたします。会費は、卒業後3年以内〔令和2年3月卒業（第95期）～令和4年3月卒業（第97期）〕の会員は、招待となりますので会費は無料です。

クラス会・同期会を兼ねての参加も歓迎しますので、各期卒業のクラス幹事の方々、クラスメートの皆さんをお誘いし、是非ご参加ください。（総務部）

以上

## 寄稿・投稿欄

### 創立100周年にあたって



雪下 健太郎（第61期）

最初に東京実業高等学校が、来年創立100周年を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。

自己紹介致しますと、自分は普通科61期卒（1986年3月卒業）で卒業後自衛隊に入隊し、除隊後大学歯学部へ進学し卒業、現在は埼玉県内にて、歯科開業医しております。

近年は元自衛官ということもあり、本業以外に自衛隊の部隊教官をはじめ、地元消防本部や県警某部隊の医療教護系の教官として補職されるなど、少々変わった経歴を歩んでまいりました。

気が付けば、楽しかった高校生活から早35年が過ぎ、今思い返せば、自分にとって東京実業高等学校での高校生活は楽しい思い出ばかりでした。

当時の普通科での高校生活は、少数精鋭ということもあり担任の先生は勿論のこと、関わってくださった全ての先生方が生徒それぞれの特性を考えて様々な融通を利かせご苦労のもと、ご指導していただいた記憶があります。そして先生方からの指導や校訓である「親和誠実」、「不撓不屈」が今までの自分の人生の節々に役に立ったことに今では大変感謝しております。

また、東実では素晴らしい友人達とも出会うことが出来ました。その友人達の出会いも人生の方向性に影響を与えたと言っても良いと思います。

これから未来に羽ばたこうとする現役の東実生の皆さん、そして来春3月にご卒業される皆さん、高校3年間の学びや東実で得た友人達は一生モノです。これからのあらゆる苦難の助けにもなると思います。

苦しいことがあっても夢を諦めずに歴史ある東実の生徒として、卒業生として誇りを持ち未来に向かって努力をすれば、自ずと未来が見えてくるはずですよ。

自分自身、卒業後に改めてそう考えるようになりました。

自分は東実同窓生として、これからも東京実業高等学校を影ながら応援していきたいと思っております。

ここから新たな百年に向かって、東京実業高等学校がこれまで100年間築いてこられた伝統や実績の上に、更なる力強い歩みを重ねられますこと、そしてこれからの卒業生の皆様が素晴らしい未来を迎えられるよう祈念いたします。

（令和3年12月30日 記）

# 私の歩んだ道



石原 孝 (第36期)

疎開中の昭和19年～24年の僅か5年間だが…。親父は、愛知県の孤島の代々続く漁師でした。少し頑固者で次男だったので家を継ぐことは無く、兄弟船での稼ぎは平分であったことも不満であった為、漁協所有の先端が尖った「第1・第2大成丸」の底引き船に暫く船員として就労し、将来は中国(上海)に移住するなどの話もあったようだが、横浜の知人を伝って職場を鞍替えすることを決め、貯めていた当時の10万円?で、木造船「英徳丸(60ト)」と古い2軒長屋の一隅を知人から購入し、横浜に移住した。木造船は、後に東京湾の海運本船から製粉や麦などの積み下ろしなどをする2人乗りの焼玉エンジン製の「ダルマ船」に買い換えた。

私は、その2軒長屋で昭和17年に誕生した。当時は、病院でなく自宅で「産婆さん」に見取って貰い生まれるのが常のようで、昭和の中ほどまで続いたやに思う。その2軒長屋に産後のお袋の助っ人として来てくれた田舎の祖母(バーちゃん)の世話になった。そのバーちゃんは還暦の頃だったが、弟や妹が生れる度に当たり前のように横浜に来てくれた。当時は、今のように車も無く機関車(D51)の時代で、横浜～名古屋間は片道8時間掛かり、丹那トンネル(総延長約8000m)を1日掛けて行き来するのは、かなりの労だったに違いない。そのバーちゃんは、明治維新(丁髷の時代)を生き抜き、100歳近くまで母親と針仕事をするなど丈夫で長寿を全うした。

終戦間際に東京大空襲があり、動めく敵機(B29)の影を親父の大きな背中に背負われて見上げた時の記憶は、東の夜空がまるで花火を見ているようで、かなりの大火にも関わらず恐怖心は無かった。3歳頃なので無理もないが、戦争の意味(怖さ)が分かっていなかったのである。その後、戦火が激しくなり、親父は船が心配で横浜に残り、母と兄と私の3人は、父方の故郷である愛知県・伊勢湾の小島(日間賀島)に疎開した。日間賀島は、東西に15km、南北に12km程の島で、東里(オザト)・西里(ニシナト)に大きく大別され、祖父方の東里の離れに暫く住み、やがて西里の小さな一軒家に引っ越した。

西里の家は、海岸から300m程の距離で、30m程北向きの高台で、間取りは今で言う「3K+土間」で、炊事場の土間には水道が無い為、洗面や煮炊きは雨水。夜間はランプの明かりで、風呂は海水だった?。

やがて終戦を迎え、横浜に残った親父は、幾度か参勤交代状態で、横浜と日間賀島間(約400km)を行き来した。たまに戻った父は、大きな盪舟(たらいぶね)を浮かべて、「昔取った杵柄」で、昆布取りなどをしていた。

また、全島挙って伊勢参りする際、太田丸と大成丸の2艘の船団を親父が仕切っていたことが誇りしかった。

家からは、太平洋が少し見えて、伊勢湾から見る夕日はとても綺麗で、団平船(だんへいぶね)などが丸い地球の水平線に沈んで行くのが見えたが、幼かった自分は、疑問や感動を特に持たなかった。漁師村の夜は早く、まだ9時頃なのに日間賀島の月夜は静かで明るかった。

潮が引くと岩場の岩海苔を掻き取ったり、西里沖合1kmほどに鼠島(100m四方)が大潮の時に地繋がりになり、まるで「モーゼの十戒」の世界のようで、恐々と近くまで歩いた行った。とにかく海は透明度が素晴らしく、三角眼鏡で水中を見ると大きな魚の群が数百匹連なり手に取るようだった。また、その鼠島近くで何人かで伝馬舟(てんません)から釣ったアイナメを生きたまま塩炊きにしていた時、誰かがポチャンと何かを海に落とした。そのことを最近になって兄貴に話したら、「それは自分のナイフ」だったとのこと…。もう一人懐かしく思う人は、当時親父の漁師仲間で、私は「磯男君・イソオくん」と連呼していた独身のお兄さんの磯男さんだ。磯男さんは良く肩車をしてくれた。また、二人で1日掛けて作った投網で、泊り場の魚を取ってくれたことを思い出す。

日々朝から海的生活だった。或る日、マンガリ(藤壺の種)で左膝切傷し、大量出血して号泣。当時の島は無医村だったので、手術は出来ないので、縫製せずに長い時間をかけて直した。また、まだ観光地になる前で、棧橋の付け根に烏賊の芯(当時はイカブネと云っていた)が、水面が見えなくなるほど漂っていたので、捕まえようとしたら滑り落ち、自力で這い上がり事なきを得た。また、盛夏になると岩場に潜んでいる小魚を銚で突いていた時、真っ黒な「トゲトゲウニ」を素足で踏み苦しい思いをしたこともあった。また、小1の時、伝馬舟に乗ってみたいとなり、放課後「泊り場」に誰もいなくチャンスが巡ってきたと思い一人で乗り込み陸を離れた。しかし、進む魯(その頃はすでに自分で漕ぐことが出来た)が積んでなかったもので、潮の加減で「あれよ!あれよ!」という間に沖合迄流されてしまった。沖の波は静かで恐怖は無かったが、どうして良いかわからず「エーンエーン」と泣いていたところ、幸い漁から島に戻って来た知らない人に助けもらった。両親にも話したことも無かったので、2000人ほどの小島だが、助けてくれた人の名前も知らない。今なら大騒動なことで、ずいぶん無茶したもんだ。

戦時中の時代であったが、漁師の親父には何故か徴兵の召集令状が届くことなく終戦を迎えた。もし、召集されて戦争に行っていたら、今の自分はこの世に生はなかったかも?。人間として生を受け80年間全うすることが出来たのは、奇跡の連続としか言えない。この神が与えてくれた奇跡を授かった人々は大変にラッキーと言えようか。今思うにあの戦争がなかったら、日本はどんな国に進んでいたのか…。

戦争は永遠になくなり、衣食住の環境が世界中に行き届き、争いが無い平等な世界がくれば、また次なる心(名誉、権力、自己主張、占有)の戦いが始まり、人間の欲望の歴史は留まることは永遠に無いであろうか…。

令和3年7月27日八十寿(やそじゅ)を超える私。

(令和3年5月25日 記)

# 会報誌と共に



副会長（広報部責任者）  
川邊 國造（第38期）

平成15年（2003年）の定期総会で当会の常任幹事を拝命し、会報部（当時）に所属し、3年後の平成18年（2006年）に有難くも副会長に推挙していただき、会報部責任者を兼任することになり、本誌No.17号（平成18年3月発行）から現在まで会報誌編纂一筋にいつの間にか15年が過ぎ去り、まさに「光陰矢の如し」です。

（白黒印刷からカラー印刷へ） 本会報誌は、私が会報部責任者に就任した当時は、A4・白黒刷りで、ページレイアウトや印刷版下も印刷業者に発注していました。これらの作業を会報委員が行うことにし、印刷と製本のみを業者に依頼することにしました。それにより、ほぼ白黒印刷誌と同額でカラー印刷に変えることが可能となり、No.20号（平成21年3月発行）からカラー印刷にいたしました。

（本会報誌の内容） 本会報誌は、次の三つをコンセプト（基本的な方向性）にしております。

まず在校生の毎年の学業、部活動の近況を卒業生に報告し、その実績をより広く皆様に知っていただくことにより母校への関心、連帯感等を深めていただくことであり、各科・コースの現況報告、各種技能検定や資格の実績、運動部の対戦成績等を掲載しています。また、多くの方の目につきやすい一部の運動部だけで無く母校に現存する全ての部活動を毎号にわたり紹介しています。

次に同窓会で行っている新年会や、懇親旅行等の行事の結果報告を掲載しています。懇親旅行記では、往復のバスの中での楽しいやり取りや旅先の宿での宴会の様子等を載せ、行事の活動を身近に感じていただき、気軽に参加いただけるようにしております。（各種行事の実施案内は同窓会のホームページでお知らせしておりますので、参加希望される方は遠慮なく事務局まで連絡してください。）

三つ目に母校同窓生（会員）の寄稿文の掲載が有ります。この寄稿文の校正作業が会報誌発行プロセスの中で最も難しいのですが、その分遣り甲斐があり、且つ勉強になりました。とりわけ各界で活躍なさっている方たちの表現力の豊かさ、語彙の広さ等に驚嘆し、たじたじとなることも再々でした。その為、委員が校正した後、母校の現役の先生にお願いして最終的な校正をしていただいていたから印刷しております。

ちなみに本会報誌バックナンバー（創刊号～）は、当会のホームページにも掲載しており、同窓生関係者だけでなく、広く一般の方が自由に閲覧出来るよう公開しております。

以上本会報誌の内容について述べてきましたが、次に毎年3月1日付で発行している会報誌の発送に至るまでのスケジュールについて過去の実績をもとに説明します。

（制作スケジュール） 毎年6月の第1土曜日に開催される定期総会に議案として提出される会報誌発行並びにその為の予算について審議され可決承認を受け成立した後、8月～9月に開催される年度最初の常任幹事会の場合において、副校長先生（規約上副校長先生は同窓会の副会長を兼務することになっており、年に5～6回開催される常任幹事会に出席して下さっています。）を通じて理事長、校長両先生を始めとした各課課長、コース長等の学校関係者の皆様に原稿を依頼するとともに、あらかじめ顧問、相談役等にご紹介をいただいた同窓会の方々に原稿依頼をします。寄稿して下さった原稿を会報部で編集、校正をし、上述した現役の先生の最終校正が完了するのが翌年の1月末頃になります。そして、印刷製本が完成した同窓会報を新卒業生及び学校教職員に配布するので、2月末に学校に納品します。

同窓会員の皆様には卒業後3年以内の方、常任幹事、顧問、相談役等の役員、過去に寄稿していただいた方等を含め、おおよそ毎年2,200部程度郵送しています。

この郵送作業は毎年4月中の土曜日に母校の一室をお借りして行います。他の同封物も有り、自分達で郵便局に持込む必要があるので作業には10人ほど必要になり、昼食休憩を含めて4時間程度掛かります。

（関係者への感謝） 郵送作業に毎年のように参加して下さった常任幹事の皆様有難うございます。

また、私が本会報誌の編集にあたって、15年間の中でご協力いただいた上野雅子上野塾理事長、上野毅、知念義裕、国分達夫各校長先生、青木英二、北井邦寿、小畑雅一各副校長先生、校正をして下さった志賀由直、小野博司、田中清江各先生、本田位公子前会長、臼田佳彦会長、いつも走り回っていた事務局の米倉美鈴常任幹事さん心よりお礼申し上げます。

少子高齢化が進む近年ですが母校及び同窓会の末永い発展を祈念致します。

令和4年1月10日

## 東京実業高校同窓会の沿革

年	月	沿革
S03(1928)	3	同窓会（昼間部）結成、初代会長 山田千太郎
S04(1929)	3	蛍窓会（夜間部）結成、初代会長 常松菅晴
S36(1961)	2	五葉会（専門学校）結成、初代会長 後藤光明
S45(1970)	11	村松濱代 第2代会長就任
S47(1972)	10	初版同窓会会員名簿発行
S55(1980)	9	初代会長山田千太郎 逝去
S57(1982)	10	第2版同窓会名簿発行
	11	学校創立60周年記念式典
S58(1983)	12	同窓・蛍窓・五葉会の3会を統合し「東実同窓会」となる
	6	常松菅晴 蛍窓会長逝去
H04(1992)	6	渡邊和彦 第3代会長就任
	11	学校創立70周年記念式典
H06(1994)	6	黒田芳彦 第4代会長就任
H10(1998)	6	山本徳太郎 第5代会長就任
H14(2002)	11	学校創立80周年記念式典
H16(2004)	6	本田位公子 第6代会長就任
H21(2009)	1	山本徳太郎 第5代会長逝去
H24(2012)	11	渡邊和彦 第3代会長逝去
	1	新校舎竣工記念式典（90周年記念）
H28(2016)	4	村松濱代 第2代会長逝去
	6	臼田佳彦 第7代会長就任
RO4(2022)		学校創立100周年記念式典

# 会員通信欄

## ■ 「第41回定期総会」返信ハガキより

○浜住 芙美枝(第34期) コロナの収束が見えず心配ですが…。今はどこのお庭を見てもツツジ・花水木と賑やかで、心が晴やかになります。

○中村 多寿子(第34期) 会報ありがとうございます。都合で欠席します。

○日下部 銚五郎(第38期) 創立100周年お祝い申し上げます。少子化により学校の閉校・統廃合が進むなか、偉業であり、その過程においては時代のニーズを鑑み、ゲームIT・ビジネス・文理各コースの設置をされた学校関係者の決断の寄与と思えます。

○波田野 紘一(第38期) 欠席ですが、東実祭は行こうと思っています。

○桜井 憲一・桜井 清子(第41期) 会報楽しみに拝見させて頂いています。皆様とお会いして笑顔の一日を過ごしたいのですが、コロナ禍不安で気持ちがネガティブになっていますが、みんなの顔を思い浮かべて元気をだすよ！コロナウイルスの一日も早い収束を願っております。

○小川 隆(第40期) 今回は残念ですが欠席致します。40期M3Dの方の情報があれば連絡して下さい。

○滝口 房枝(第41期) 会報誌楽しみに見ております。「卒業した懐かしい友を探して」の欄を設けて欲しいのですが…

○本田 俊弘(第41期) いつも連絡ありがとうございます。スタッフの皆様もコロナに十分に気を付けて下さい。元気でネ！

○須山 悦子(第41期) 早くコロナが収まり平和な日常が戻って、明るい笑顔でお会いしたいです。

○小崎 和枝(第41期) 同窓会報いただきました。ありがとうございます。ごめんなさい！今回は欠席させていただきます。

○飯塚 方子(第46期) コロナの収束も見えず感染のリスクもまだ不透明なので、欠席させていただきます。ワクチン接種後だったらよかったです。

○石塚 淳(第96期) 同窓会役員の皆様、会報発行、同窓会運営、大変ありがとうございます。当日、所用が有り欠席させていただきます。宜しく願い致します。

○須永 脩馬(第63期) 大学でサッカー部に所属しております。公式戦と日程が重複しているため、誠に申し訳ありませんが欠席させていただきます。今後とも宜しくお願い致します。

## ■ 封書にて(2021.4.15)

○宮島 昭五郎(第23期) 拝復 この度は、東実同窓会報32号をお送り頂き、有難うございました。新型コロナ感染症の蔓延下、種々ご苦勞のことと存じます。それらを克服されておられる、母校及び同窓会のご努力に深い敬意を表する次第です。また今回、小生の寄稿をご掲載頂き有難うございました。来年は母校の創立100周年を迎えるにあたり、一層の発展と各位様のご健勝をお祈り致します。敬具

## ■ メールにて(2021.5.20)

○星山 嘉昭(第38期・機械科) 私は東実3年間、野球部に在籍しており、コロナ禍以前は、毎年夏の大会予選には江戸川球場や神宮球場に応援に出かけていました。今は、コロナ禍の影響で応援も出来ず、仲間にも会えず残念です。昨日、送付頂きました会報の「会員通信欄・返信ハガキより」に同期の飯塚守昭君のコメントが載っており驚きました!! 彼は我が野球チームの主戦投手でした。また、物故者名簿の田村慎明君は、野球部の正捕手でした。懐かしく拝見しました。誰方が私の住所を知らせてくれたのか?わかりませんが、感謝しております。

### 【事務局からのメールで同期の石井満氏であることを知り…】

有難うございます。早速、石井満君に電話して近況を話し合えました。早くコロナが終息して、B組クラス会と東実祭が実現出来るよう楽しみに頑張ります。

## 物故者(敬称略)

下記の方々が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

卒期	氏名( )は旧姓	没年
第17期	鷹野千十郎	令和2年 12月
第18期	平川 定雄	令和2年 1月
第18期	河邊 位	令和2年
第21期	河野 典男	令和2年 1月
第22期	高瀬 政男	令和2年
第22期	佐原 彰	平成28年 3月
第23期	長澤 吉昭	令和2年 11月
第25期	岸 雅夫	令和2年
第34期	川上 孝子	平成30年
第36期	足立 喜一	令和3年 7月
第36期	浅沼 謙雄	令和2年 9月
第36期	神山 靖雄	令和3年 2月
第37期	米田 仁昌(※)	令和3年 4月
第39期	多田 和人	
第46期	田中 洋好	

## 物故者 memo

※ 第37期米田仁昌氏は、卒業後、学校事務職員として長年勤務され、昭和58年に同窓・蛍窓・五葉会の3会が統合され現同窓会となってからは、同窓会事務局員を兼任していただき、学校退職後も相談役としてご支援いただくなど、永年にわたって当会の発展にご尽力をいただきました。

### ○長女の奥田仁美様より(令和3年5月10日)

拝啓 このたびは亡き父米田仁昌の葬儀に際し、ご丁寧な弔電をいただき、心より御礼申し上げます。

父もきっと喜んでのことと思います。ここに滞りなく葬儀が済みましたことをご報告申し上げますとともに、生前賜りましたご厚意に、あらためて深く御礼申し上げます。

本来ならお目にかかってご挨拶を申し上げたいところではありますが、忌中のため、略儀ながら書中にて失礼いたします。 敬白

## 本会報誌について

### ○頒布（配付・送付）

本会報誌は、発行年度の卒業生には直接配付し、卒業されてから3年までの会員、同窓会役員、行事出席者、寄稿者および広告掲載企業様等には、4月下旬に送付しております。また、定期総会や新年会開催の際に受付にて希望される方に配付しております。在庫部数に限りがありますが、クラス会・同期会等の開催の際に必要な方は、事務局にご連絡いただければ差し上げますので、ご遠慮なくお申込みください。

### ○写真及び随筆文等の募集

皆様からの在学中の思い出やクラス会・同期会・近況報告などに関する写真や随筆・紀行文などを募集しております。文字数は最大1100字までとし、写真の挿入（ただし、1枚）がある場合は800字までとします。なお、投稿文は編集において編集担当者の判断により、加除させていただくこともありますので、ご了承ください。また、原則として投稿者の顔写真を掲載させていただきますので、ご承諾のうえご提供ください。ご提供いただいた写真は、使用後返却いたします。

### ○バックナンバーの閲覧

本誌のバックナンバー（創刊号～本号）は、同窓会ホームページで閲覧できます。是非ご覧になってください。

美しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095

東京都大田区多摩川1丁目18番5号

TEL.03-3758-0710

FAX.03-3758-2821

第56期 佐々木 健

スポーツのことなら!

しろがね

白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具  
用品・施設・工事一般  
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7

TEL (03) 3754-8679 FAX (03) 3754-4845

第37期 白銀 正明

不動産の総合コンサルタント

分譲住宅 設計・施工・販売

神奈川県宅地建物取引業協会会員



株式会社 セガ・コーポレーション

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町8番12号

TEL:045(582)8000 FAX:045(582)8866

第42期 代表取締役 瀬川 千尋

uno CO.LTD.

ビジュアルプランニングのパートナー  
写真の撮影・編集・印刷・製本まで

有限会社 ウーノ 03-3891-6735

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里6-45-3  
ハイウエストビル6階

一企画・デザイン・印刷全般一

トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14

TEL (03) 5736-3447 FAX (03) 5736-3448

E-mail : total@wing.ocn.ne.jp

第38期 川邊 國造



東京都大田区南馬込5-22-10

TEL (03) 3771-7100

携帯 (080) 5375-8552

営業時間 17:00~23:00

月曜定休 (祝日の場合営業)

パソコン・一般家電 修理・販売

お気軽にご相談下さい



有限会社 深谷電器

〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16

(御嶽山商店街内)

電話: 03(3728)1446

E-mail: NQF15990@nifty.com

第70期 代表取締役 深谷和弘

## 事務局だより

### ■ 主な同窓会行事と参加のお願い ■

同窓会では、主に次の行事をおこなっており、開催時期は以下の通りです。

- 新年会 1月(最終土曜日)
- 定期総会 6月(第1土曜日)
- 懇親旅行 9月下旬～10月中旬
- 東実祭 11月(中旬の土・日曜日)

詳細につきましては、ホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧いただくか事務局にお問い合わせください。なお、参加申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員(東京実業高等学校の同窓生・元教職員)の方であればどなたでも参加出来ますので、先輩・同期・後輩の方にご連絡いただき、お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。(事業部)

### ■ 広告掲載のお願い ■

#### ○同窓会報

本会報紙に広告掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金(消費税込み)は、縦49mm×横81mmサイズは5,000円、1/2サイズは2,500円です。各号の締切日は、12月中旬となっておりますので、お申し込みは、事務局に電話またはメールにてお願いいたします。

#### ○同窓会ホームページ

ホームページにバナー広告の掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は1年間20,000円(消費税込み)です。詳細につきましては、ホームページの「広告バナー掲載について」の募集要項をご覧ください。随時受け付けておりますので、ホームページの「お問い合わせメール」または事務局に直接電話でお申し込みください。(広報部)

### ■ 同窓会名の電話に“ご注意、” ■

近年、同窓会関係者を騙った名簿業者から、名簿発行に伴う情報提供の依頼や購入案内が会員に届くなど、名簿を悪用した詐欺も多くなっておりますので、“ご注意、”してください。同窓会では、電話による寄付の要請や個人情報に関する問い合わせは一切行っていません。

ご家族の方にも周知されて直ぐに対応しないようにしてください。また、同窓会名でこのような電話がありましたら、必ず事務局または学校にご連絡し、ご確認ください。(事務局)

### ■ 個人情報の取扱い ■

会員の皆様の個人情報の利用は、以下のとぎのみに使用しております。

- 同窓会名簿の整備
- 同窓会報の送付
- 各種行事の開催案内送付
- 総会・役員会議等の開催案内送付

同窓会は事務局も含め、全て卒業生のみで運営されており、保有している会員の情報は、本人の同意を得ずに第三者への提供や開示などはいたしません。(事務局)

### ■ 常任幹事を募集しています ■

同窓会では、一緒に活動して下さる常任幹事を募集しています。主な仕事は、年5回ほど平日の夜に開催される役員会議に出席していただき、同窓会行事等の打合せや諸行事へ積極的に参加していただくことなどです。

同窓会の輪を広げるためにも皆様のご協力をお願いいたします。ご協力いただける方は、事務局へ電話・メール等でご一報ください。(事務局)

## 編集後記

本会報誌は、同窓会活動や母校の現況、会員の寄稿文などを掲載し、母校と同窓会の情報発信誌として、毎年1回発行し、33年になります。

本号(No.33)発行に際して、ご寄稿をくださいました会員並びに母校教職員の皆様には、大変お忙しい中、ご執筆くださりまして誠に有難うございました。

また、広告掲載にご協力くださいました企業様には、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の同窓会活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を鑑み、定期総会後の懇親会、懇親旅行、新年会は中止となり、会員や母校教職員の皆様とお会いする機会が減りとても残念でした。

コロナ感染症は、新年に入ってオミクロン株が急拡大し、なかなか収束の兆しは見えぬコロナ禍での生活はまだまだ続くようですが、広報部員一同、皆様のご要望とご期待に応えられるよう努め、母校と同窓会の発展に少しでも寄与出来るよう鋭意努力して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

(令和3年2月1日 広報部)

 <b>東実同窓会報 No. 33</b> <b>広報部</b>	
責任者	川邊 國造(副会長)
部員	深谷 和弘(副会長) 神野 行雄(常任幹事) 長瀬 隆史(常任幹事) 高山 俊一(常任幹事)
発行日	令和4年3月1日
編集	東実同窓会報 広報部
発刊	東京実業高校同窓会
事務局	〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 Tel : 03-3732-4481 Fax : 03-3732-4456
	[ホームページ] URL : <a href="http://www.tojitsu-dosokai.com/">http://www.tojitsu-dosokai.com/</a> Mail : <a href="mailto:info@tojitsu-dosokai.com">info@tojitsu-dosokai.com</a>
	M-phone : 080-1186-8945 E-mail : <a href="mailto:tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp">tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp</a>
	} 学校内
発行人	臼田 佳彦(会長)
編集人	川邊 國造(副会長)
協力	小畑 雅一(副校長) 本田位公子(顧問) 田中 清江(教諭) 米倉 美鈴(事務局)
制作	トータルプラン株式会社